

国立国会図書館サーチ

国立国会図書館
電子情報サービス課
中世古 亜希子

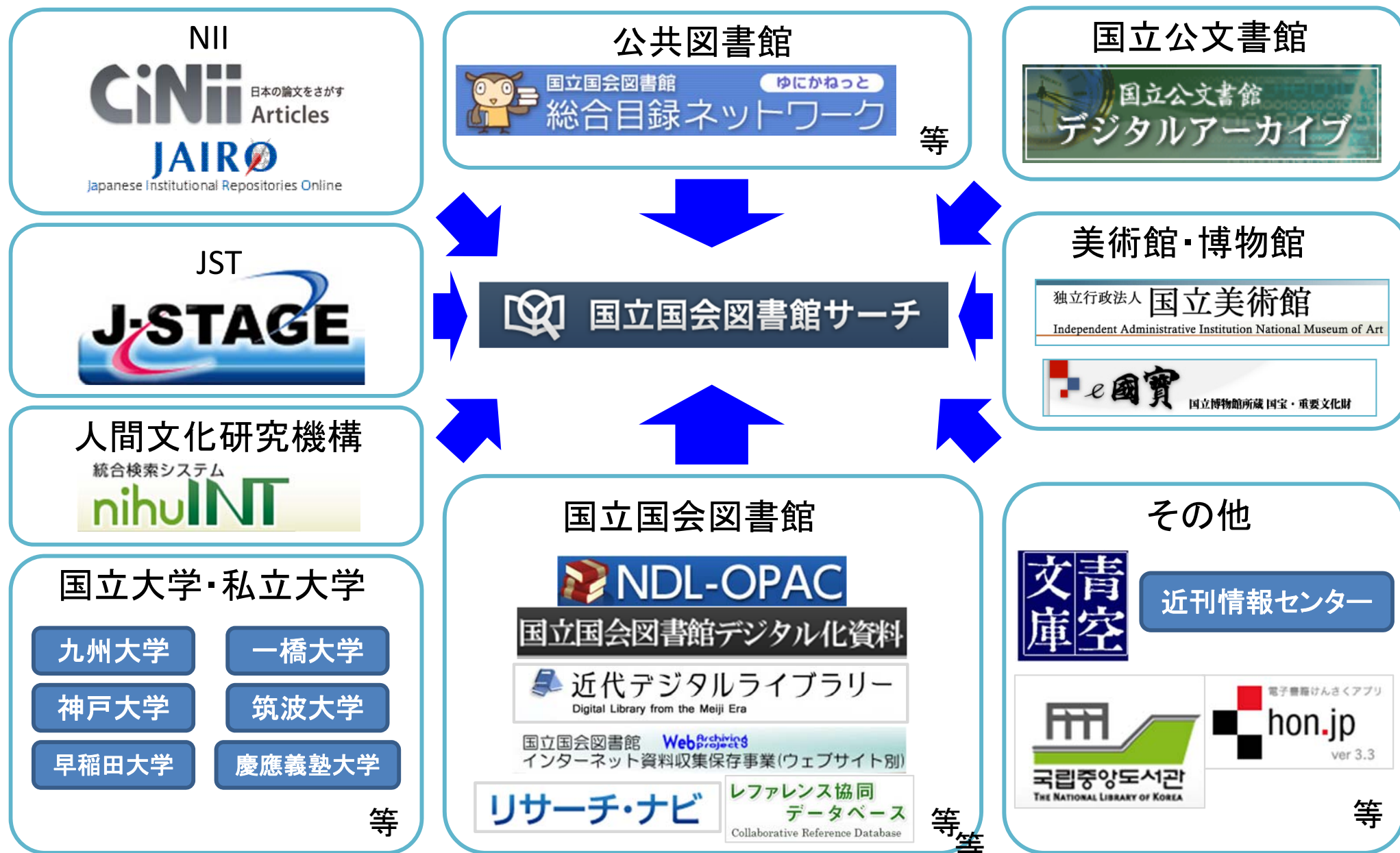
自己紹介

- 中世古亜希子(なかせこあきこ)
- 国立国会図書館に入館
 - 資料提供部 複写課(2005～2008)
 - 関西館 文献提供課(2008～2011)
 - 電子情報部 電子情報サービス課(2011.10～)
- これまでは主にカウンター業務が中心の部署にいました。
- 現在は国立国会図書館サーチの開発を担当しています。

国立国会図書館サーチとは

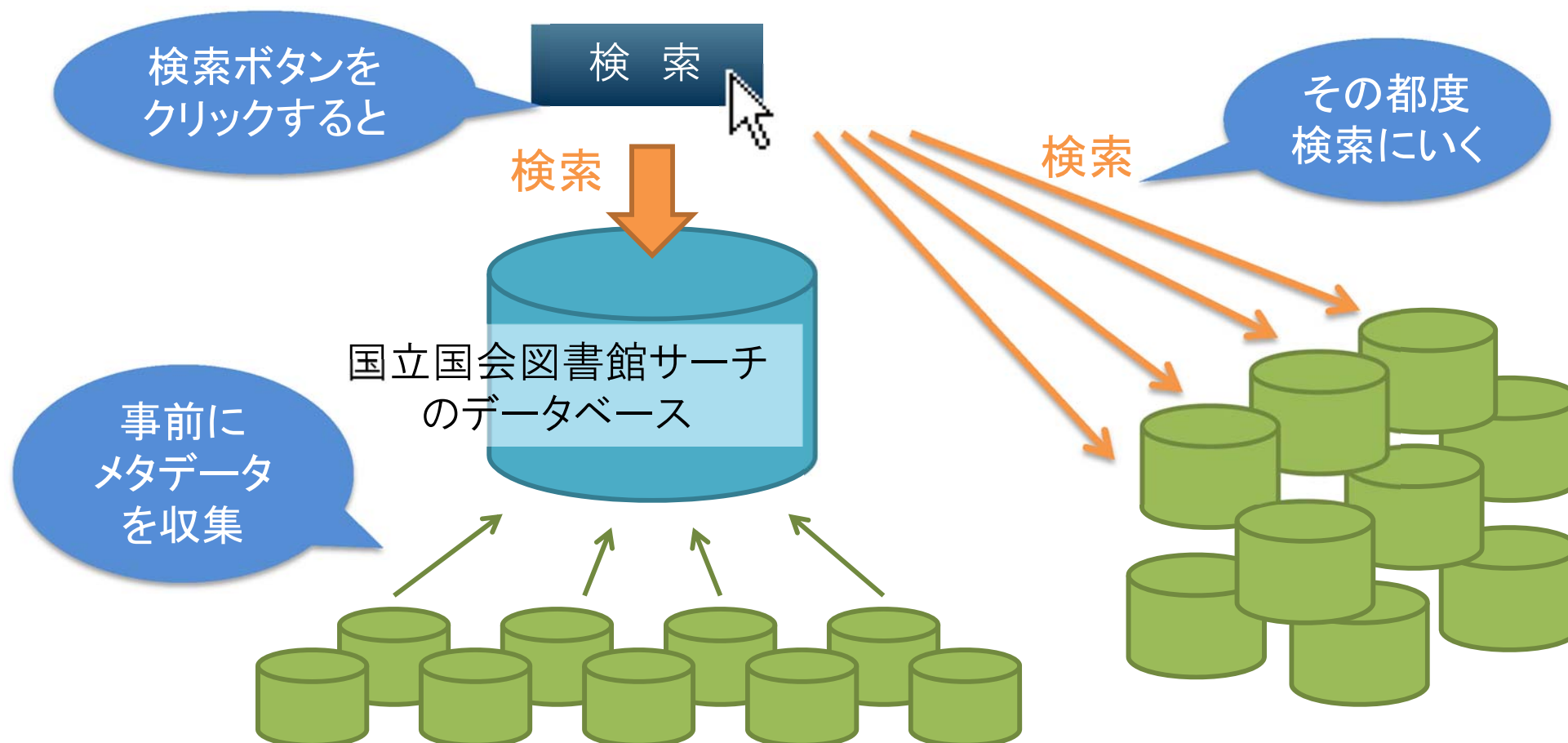
- 国立国会図書館の新しい検索サービス
 - 平成22年8月 「開発版」として試行公開
 - 平成24年1月～ 本格システムとして稼働
 - 国立国会図書館、全国の公共図書館だけでなく、様々な機関のデジタル化コンテンツ、蔵書等を統合検索（PORTA、ゆにかねっと等の後継）
 - 資料を探しやすくするための高度な検索機能を提供
 - 国立国会図書館サーチの機能・メタデータは、外部提供インタフェース（API）で提供しており、様々なシステムやウェブサービスで活用
 - 検索対象データベースは205個（2012年7月現在）

検索対象データベース



検索対象との連携方法

- 検索対象データベースとの連携方法は、“事前収集”と“その都度検索”の2種類



開発の背景

- コンセプト

- 誰でも・どこでも・気軽にお使いいただけるような検索機能
- 紙資料、デジタル化された画像、テキスト、音声、レファレンス情報等、様々な形態の情報を検索対象とし、単に検索機能を提供するだけでなく、利用者が求める形で、的確かつ迅速に、閲覧または案内できるように構築

⇒国内の各機関が持つ豊富な「知」を活用してもらうためのアクセスポイントとなることを目指す。

システムの特長

- 統合図書館システムであるNext-L Enjuをコアに、Heritrix、Hadoop、GETAssocといったOSS（オープンソースソフトウェア）を活用してシステムを構築
- メタデータの収集および配信の各種標準APIを実装
- 外部Webサービス（カーリル、twitter、ブックログ等）や他機関で行われている研究開発成果の積極的な活用
- 書誌情報の記述要素として、「国立国会図書館ダブリンコアメタデータ記述」(DC-NDL)を採用

⇒将来的にはNDLサーチで開発した機能をOSSとしてNext-L Enju に還元したいという思いも・・・。

国立国会図書館サーチのこれから

- ①連携するデータベースをさらに増やし、統合検索のメリットを向上させ、各機関のデータベースの可視性向上に貢献します。
- ②集約したメタデータを、APIを通じてより多くの機関に提供し、我が国におけるデータベースのメタデータ流通促進に貢献します。
- ③各種Webサービス、研究機関との連携により、研究開発成果等を活用し、より先進的で高度な検索サービスの提供実現を目指します。

皆さんと一緒に育てていきたいと考えています。
ぜひご活用ください！

<http://iss.ndl.go.jp/>



The image shows the search interface of the National Diet Library (NDL). At the top, there is a dark blue header with the NDL logo and the text "国立国会図書館サーチ". Below the header, there are three tabs: "簡易検索" (Simple Search), "詳細検索" (Advanced Search), and "障害者向け資料検索" (Search for materials for people with disabilities). The "簡易検索" tab is currently selected. Below the tabs, there is a search bar with the label "キーワード" (Keyword) and a "検索" (Search) button. To the right of the search bar, there is a dropdown menu for "翻訳検索しない" (Do not search in translation) and a checkbox for "すべての連携先を検索する" (Search all linked sites). Below the search bar, there are several buttons for filtering results: "すべて" (All), "本" (Books), "記事・論文" (Articles/Papers), "新聞" (Newspapers), "児童書" (Children's books), "レファレンス情報" (Reference information), "デジタル資料" (Digital materials), "その他" (Others), and "立法情報" (Legislative information).